

一、米五石

消費組合

以上

五、示威運動及傷害事件

八示威運動 七月二十九日午後二時會社訪問ニ際シ爭議員  
約六十名新宿線附近省線カード下ニ集合団推一本ヲ樹テ帝  
動歌ヲ高唱會社ニ向ハントシタリ 予テ警戒中、巡捕署員  
ニ於テ解散ヲ命ゼラレシ散セリ

六、傷害事件

(一)七月三十一日午前十時十五分自若淨水場停留所附近ニテ  
就業中ノ車掌加藤吉五郎ニ對シ本社訪問ノ帰途乗車セシ  
爭議困員石丸勇等十五名暴行ヲ加ヘタル由ニテ被害者ヨ  
リ傷害ノ告訴アリタリ  
凶企の十分頃高田寺ニミ番地先ニ於テ 徳川義夫ヲ殴打  
シタル由ニテ同ジク告訴アリ  
被害者 石丸 勇 本田安定 三治 今川健治

渡辺勇助 澤原豊三 久保井福一郎

ヲ引致取調中ナルカ身傷程度ハ全治三日乃至五日ヲ要ス

六、爭議石核特局批判演說會

- 八場所 府下杉並町馬橋新富講堂
- 二日時 昭和五年七月三十一日 自午後八時 至十時
- 三司會者 関東連絡者組合 加納 國典
- 四兼士 全國大衆黨員 橋浦時雄 外十二名
- 五聴衆 一五〇名(女三名)

六、言論要旨

沿口内閣ハ産業合理化ノ美名ノ下ニ帝銀位下、労働時間  
短縮等ヲ爲シ資本家ノ走狗トナリ無産大衆ノ進展ヲ阻止  
シ、ハ、マリニ公々ト政黨ヲ攻撃シ資本主義制度ニ於テハ  
到底労働者ノ配合ハ不能ナリ云々トテ切リニ本争ヲ煽